

月にみがきて



更級小学校だより
No. 8 H26. 9. 16

P T A作業、ありがとうございました

8月30日(土)に早朝より大勢の方にお集まりいただき、P T A作業が行われました。各支部ごとに、校庭の草取りや側溝の土取り、校舎の窓ふき、トイレ掃除、学有林への道の草刈りなど、普段なかなか充分に手を入れることができないところをきれいにしていただきました。2時間30分もの作業でしたが、中には「きりのいいところのまで…」とおっしゃって残って作業を下さる方もいました。

また、「おやじの会」の皆さんにもお手伝いをいただき、体育館東側駐車場の桜の枝などの剪定をしていただきました。みなさんご存知のことですが、「おやじの会」のみなさんは更級小学校を応援しようと、環境整備などに取り組んで下さるボランティアのみなさんです。今回剪定していただいた桜の木は、県道に覆い被さるように伸びていて、カーブミラーが見えない状態になっており、通行する方から苦情が寄せられていました。お陰様で、車の通行の妨げにならない状態となりました。

P T Aの皆様、「おやじの会」の皆様のお力で学校の環境が整備されました。今週末の運動会が整備された環境で気持ちよく実施できることをうれしく思います。本当にありがとうございました。



運動会に向けて気持ちが高まってきました

今週末はいよいよ運動会です。先週から運動会特別時間割が始まり、運動会に向けての練習が本格的になってきています。入場行進や応援練習、歌練習、大玉送りといった全校では、やり方はもちろん、全員の気持ちを合わせることも大切に練習しています。応援練習や歌練習では、「勝つぞ」という気持ちを乗せた大きな声が響き渡ります。また、大玉送りでは、練習にもかかわらず本番さながらの競技となっています。また、各学年の演技や競技も練習に熱が入ってきました。難しいダンスを繰り返し覚える1年生から4年生。組み体操の技一つ一つ丁寧に確認していく5・6年生。運動会でいい演技を見ていただきたいという思いでがんばっています。



練習できるのもあとわずかですが、子どもたちは精一杯練習し、運動会当日にその成果を発揮し、輝く姿を見せてくれると思います。どうか、ご近所お誘い合わせの上ご家族皆様でお越しいただき、大きな声援をお願いいたします。

また、保護者の皆様には、PTA種目「大玉送り」とダンス「信濃の国」への参加で運動会を盛り上げていただくことになっています。こちらもぜひよろしくお願いいたします。

子どもたち、保護者の皆様、ご来賓をはじめとする地域の皆様、教職員が一体となって運動会を盛り上げたいと思います。



【コラム 特別支援教育って何？①】

皆さん、特別支援教育という言葉を知ったことがあると思います。では、特別支援教育とは何でしょうか。聞いたことはあるけれど、その内容はよく理解されていない方も多いのではないのでしょうか。本校にも、3組、4組東、4組西の3クラスがありますので、正しい理解をしていただきたく、連載をしていきますのでお読み下さい。

第1回は「特別支援教育とは何か？」ということです。皆さんは「特殊教育」という言葉を知ったことがあると思います。特殊教育は、視覚障がい者、聴覚障がい者、知的障がい者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者）に対し、特別な場で指導を行うことにより手厚くきめ細かい教育を行ってきました。近年、これらの障がいの他に、発達障がいといわれるLD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥／多動性障がい）、高機能自閉症という障がいも含めて、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うこととなりました。これが特別支援教育です。このようになったのは、平成18年6月に学校教育法が改正され、学校教育法施行規則に発達障がいが含まれるようになり、翌年4月から実施されるようになってからです。

では、特別支援教育は誰のために行われる教育なのでしょう。ここまで述べたように、障がいのある子どもたちのための教育であるのですが、それだけではありません。障がいのある子どもたちが学習を習得していくための“なくてはならない配慮”は、障がいのないお子さんにとっては“あればありがたい配慮”となります。日常の授業が、一人ひとりにとって「わかる授業」へと改善されていくことが期待できます。また、教師の配慮を周



りの子どもたちも理解し、その対応をまねるようになります。思いやりの心とお互いを認め合う心が学級や学年などに広がり、「楽しい学校」になっていきます。そのような学校の中で培われた力が、障がいの有無に関係なく、支え支えられる人間関係をつくり出す力となります、より豊かな人間関係をつくり出していけることとなります。日本が目指している「障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会」をつくり出す力となります。

【2年国語「スイミー」4組西の児童製作 材料：ペットボトルのキャップ】